



VOICE (仙台版) 調査レポート

株式会社 東日本リサーチセンター
代表取締役 佐藤 彰男

「ETC の利用実態」に関する調査

当社では、日頃より地域の生活者の意識・実態について各種調査を実施し、情報発信を行っております。

「ETC」は、高速道路や有料道路の渋滞原因の一つである料金所での渋滞緩和を目的として開発されたシステムです。平成 13 年 11 月から全国で展開されましたが、平成 21 年 3 月 28 日からは、政府による経済対策の一環として、地方圏の高速道路や有料道路において ETC 車載器を導入した乗用車に限り、土日祝日は上限 1,000 円で乗り放題となるサービスが始まり、その普及率はいちだんと高まってきております。

そこで、当社では、当社契約の仙台市民 1,000 人の消費者モニターを対象に、「ETC の利用実態」に関する調査を実施しました。この調査は、ETC に対する仙台市民の意識や利用実態を把握するため、平成 18 年 1 月の調査に引き続き行ったもので、今回はその 2 回目の調査となります。

このたび、その調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

調査実施概要

1. 調査対象および回収状況

調査対象者（仙台市内に居住する当社契約の消費者パネルモニター 1,000 人）

回収状況（対象数 1,000 サンプル、回収数 998 サンプル、回収率 99.8%）

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
男性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	19	20	20	20	99
	60代	20	20	20	20	20	100
女性	20代	20	20	20	20	20	100
	30代	20	20	20	20	20	100
	40代	20	20	20	20	20	100
	50代	20	20	20	20	19	99
	60代	20	20	20	20	20	100
合計		200	199	200	200	199	998

2. 調査方法

留置調査法（訪問留置、訪問回収）

3. 調査実施期間

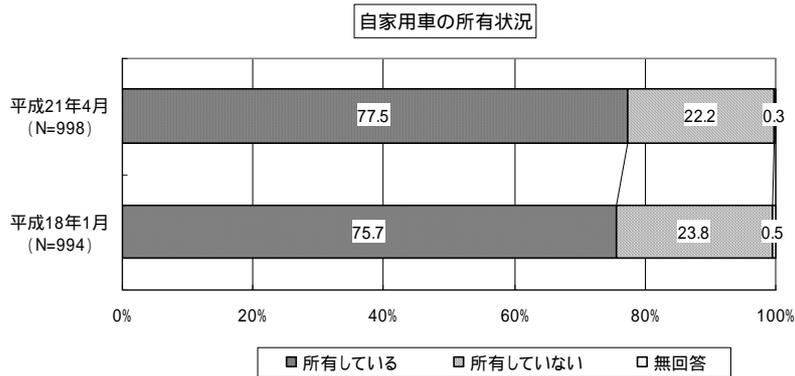
平成 21 年 4 月

1. 自家用車の所有状況 (単数回答)

ほぼ4世帯に3世帯の割合で自家用車を所有している。

自家用車を「所有している」は77.5%で、ほぼ4世帯に3世帯の割合で自家用車を所有している。

前回調査(平成18年1月実施)と比較すると、「所有している」世帯の割合は、ほとんど変わらない。

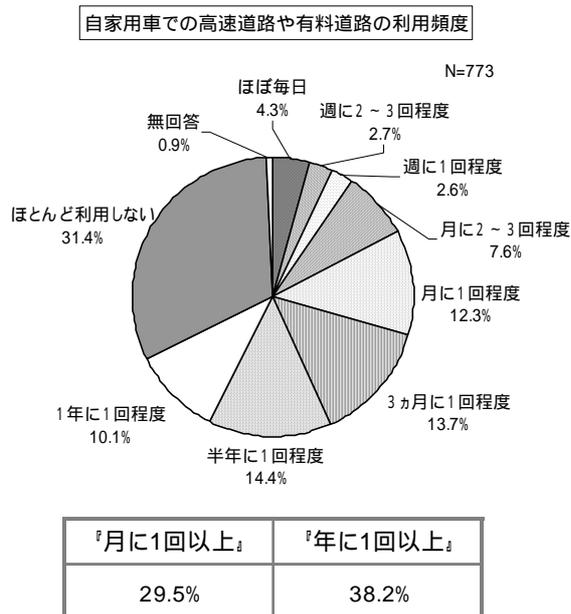


2. 自家用車で的高速道路や有料道路の利用頻度 (単数回答)

自家用車所有世帯のうち、ほぼ3割が高速道路や有料道路を『月に1回以上』利用。

自家用車を所有していると回答した773世帯に、自家用車で的高速道路や有料道路の利用頻度についてたずねたところ、『月に1回以上』は29.5%、『年に1回以上』は38.2%となっている。

なお、「ほとんど利用しない」は31.4%となっている。

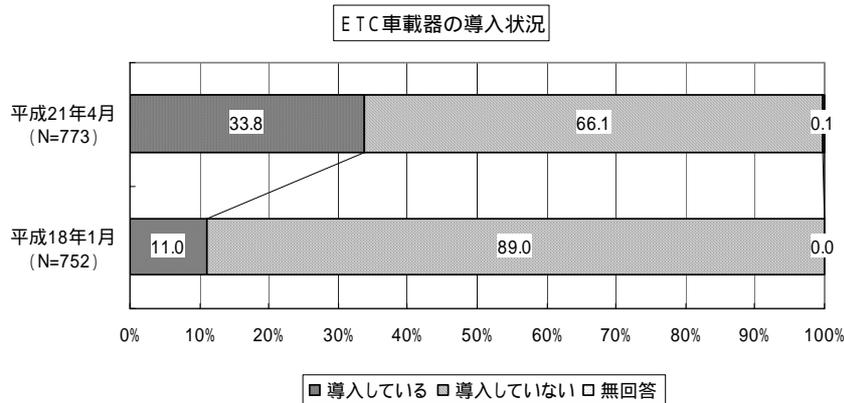


3. ETC車載器の導入状況(単数回答)

自家用車所有世帯のうち、ほぼ3分の1以上の世帯がETC車載器を導入している。

自家用車を所有していると回答した773世帯にETC車載器導入の有無をたずねたところ、ETC車載器を「導入している」は33.8%で、自家用車所有世帯のうち、ほぼ3世帯に1世帯がETC車載器を導入している。

前回調査(平成18年1月実施)と比較すると、「導入している」世帯の割合は、22.8ポイント増加している。

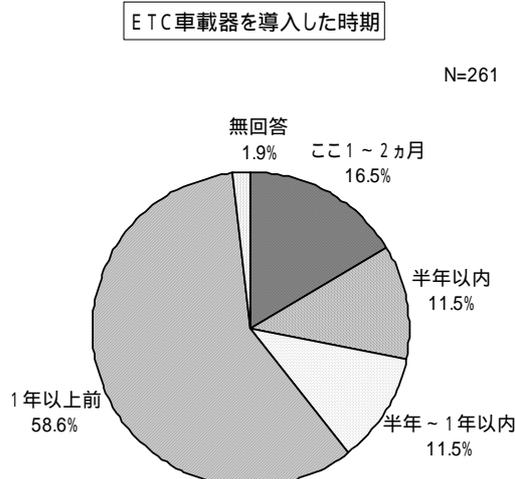


4. ETC車載器を導入した時期(単数回答)

自家用車所有世帯のうち、ほぼ6割の世帯がETC車載器を「1年以上前」に導入。また、「ここ1~2ヵ月」に導入した世帯は16.5%となっている。

自家用車を所有し、ETC車載器を導入していると回答した261世帯に導入した時期をたずねたところ、ETC車載器を導入した時期は「1年以上前」が58.6%と、ほぼ6割を占めている。

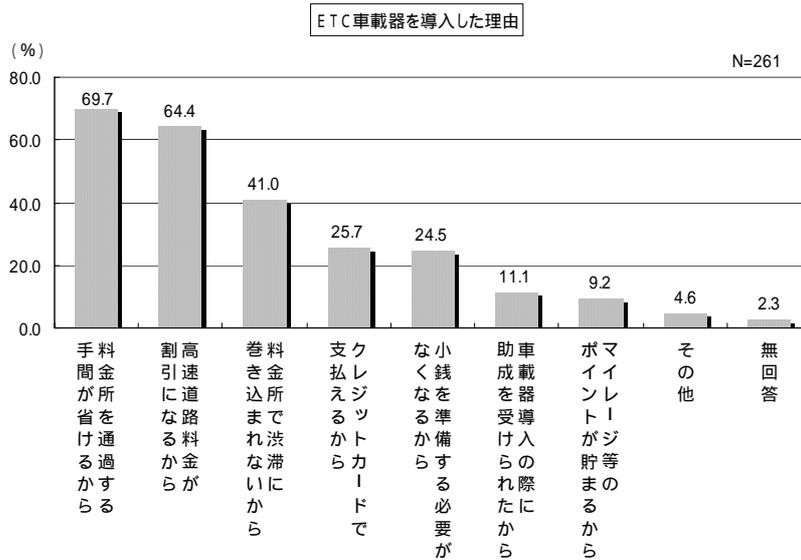
また、「ここ1~2ヵ月」(調査時期:平成21年4月)に導入した世帯は16.5%となっており、これらの世帯はETCの割引制度の開始に合わせてETC車載器を導入したものと推察される。



5 . ETC車載器を導入した理由 (複数回答)

「料金所を通過する手間が省けるから」(69.7%)、「高速道路料金が割引になるから」(64.4%)が上位を占める。

自家用車を所有し、ETC車載器を導入していると回答した261世帯にその理由をたずねたところ、第1位が「料金所を通過する手間が省けるから」(69.7%)、第2位が「高速道路料金が割引になるから」(64.4%)で、これらはETC車載器を導入した世帯のうち6割以上に挙げられており、他を大きく引き離している。次に、第3位が「料金所で渋滞に巻き込まれないから」(41.0%)となっている。

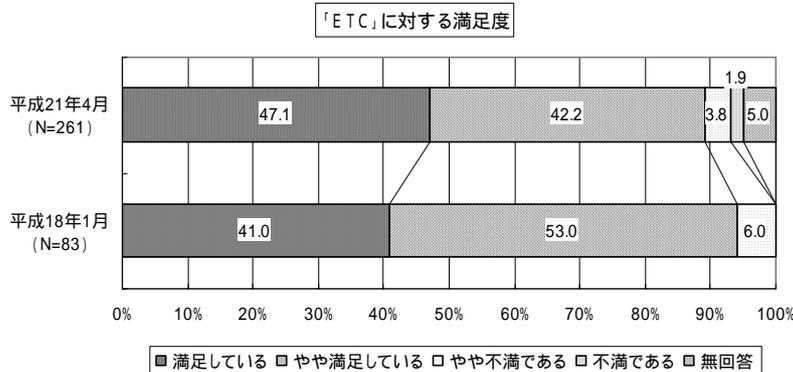


6 . 「ETC」に対する満足度 (単数回答)

ETC車載器を導入している世帯のほとんどが『満足』という結果に。

自家用車を所有し、ETC車載器を導入していると回答した261世帯にその満足度をたずねたところ、「満足している」(47.1%)と「まあ満足している」(42.2%)を合わせた『満足』が89.3%とほぼ9割を占めており、ETCに対する満足度は高い様子がうかがえる。

前回調査(平成18年1月実施)と比較すると、『満足』の割合はやや減少している(4.7ポイント)。



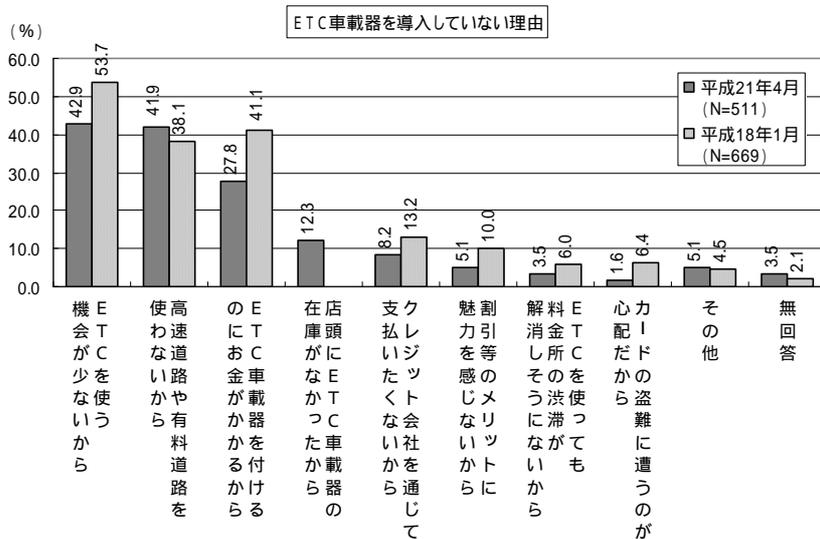
	『満足』	『不満』
第2回調査 (平成21年4月実施)	89.3%	5.8%
第1回調査 (平成18年1月実施)	94.0%	6.0%

7. ETC車載器を導入していない理由（複数回答）

「ETCを使う機会が少ない」（42.9%）、「高速道路や有料道路を使わないから」（41.9%）が上位を占める。

自家用車を所有し、ETC車載器を導入していないと回答した511世帯にその理由をたずねたところ、第1位が「ETCを使う機会が少ないから」（42.9%）、第2位が「高速道路や有料道路を使わないから」（41.9%）となっており、これらは4割を超えている。なお、「店頭でETC車載器の在庫がなかったから」は12.3%となっている。

前回調査（平成18年1月実施）と比較すると、「ETCを使う機会が少ない」、「ETC車載器を付けるのにお金がかかるから」は、それぞれ10ポイント以上減少している。

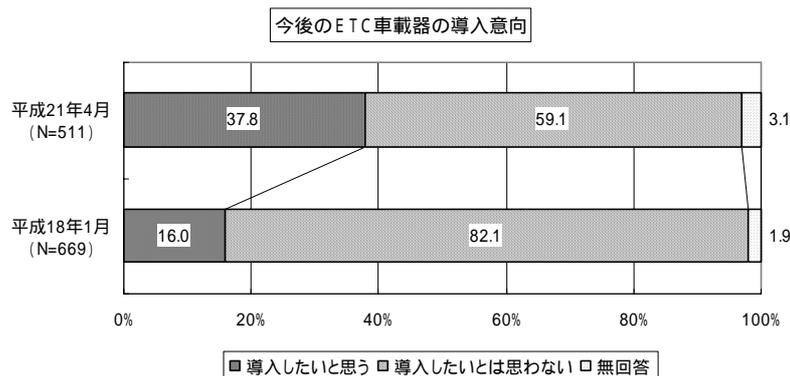


8. 今後のETC車載器の導入意向（単数回答）

ETC車載器を導入していない世帯のほぼ4割が、今後ETC車載器を「導入したいと思う」と回答。

自家用車を所有しているが、ETC車載器を導入していないと回答した511世帯に、今後の導入意向をたずねたところ、「導入したいと思う」が37.8%、「導入したいとは思わない」が59.1%となっている。

前回調査（平成18年1月実施）と比較すると、「導入したいと思う」が21.8ポイント増加している。

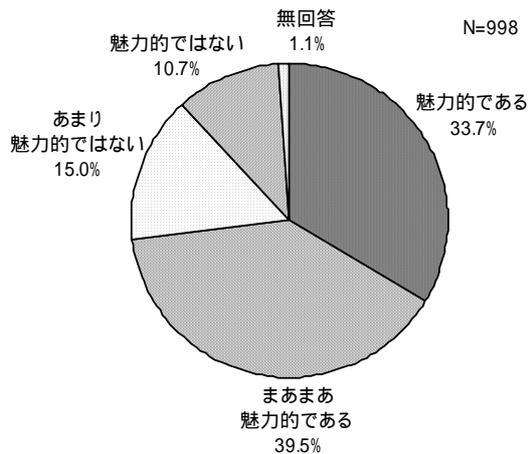


9. ETC利用者限定の高速道路割引サービスに対する魅力度 (単数回答)

7割を超える人が、ETC利用者限定の割引サービスに魅力を感じている。

ETC利用者限定の高速道路割引サービスに対する魅力度についてたずねたところ、「魅力的である」(33.7%)と、「まあまあ魅力的である」(39.5%)を合わせた『魅力的である』が73.2%と、7割以上を占めている。

ETC利用者限定の高速道路割引サービスに対する魅力度



『魅力的である』	『魅力的ではない』
73.2%	25.7%

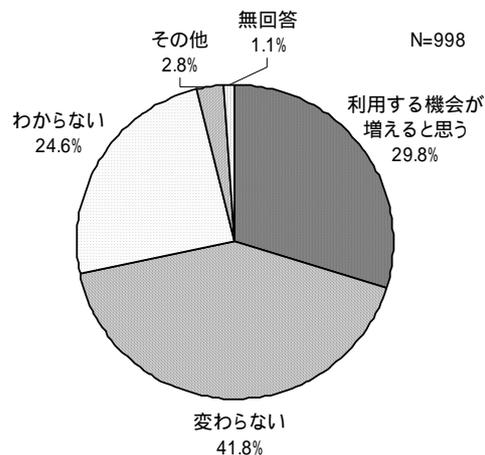
10. 割引制度による高速道路利用頻度の増減 (単数回答)

ほぼ3割の人が「利用する機会が増えると思う」と回答。

割引制度による高速道路利用頻度の増減についてたずねたところ、「利用する機会が増えると思う」(29.8%)がほぼ3割を占めている。

また、「変わらない」は41.8%と4割以上を占めている

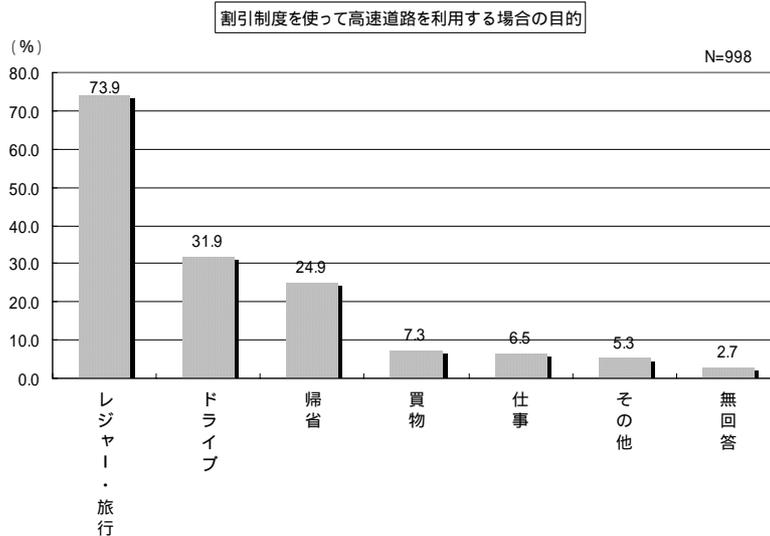
割引制度による高速道路利用頻度の増減



11. 割引制度を使って高速道路を利用する場合の目的 (複数回答)

「レジャー・旅行」が73.9%で、他を大きく引き離しトップ。

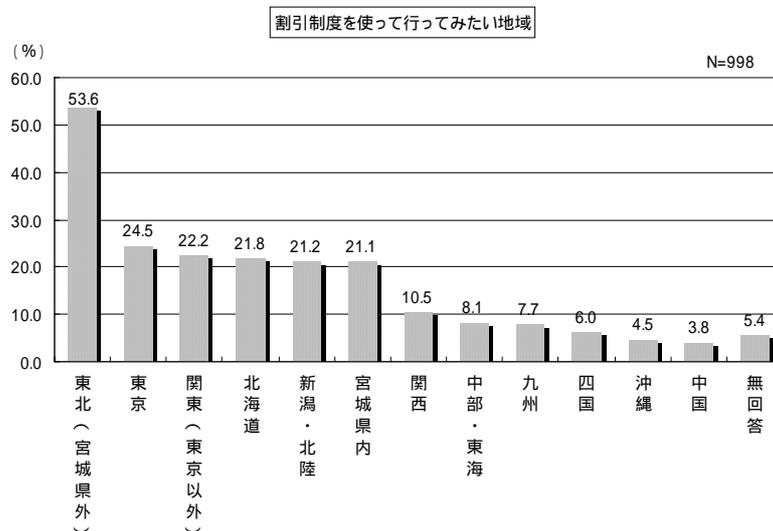
割引制度を使って高速道路を利用する場合の目的をたずねたところ、第1位が「レジャー・旅行」で73.9%と、唯一7割を超え、他を大きく引き離している。以下、第2位が「ドライブ」で31.9%、第3位が「帰省」で24.9%となっている。



12. 割引制度を使って行ってみたいと思う地域 (複数回答)

最も多いのは「東北(宮城県外)」(53.6%)で、唯一5割を超える。

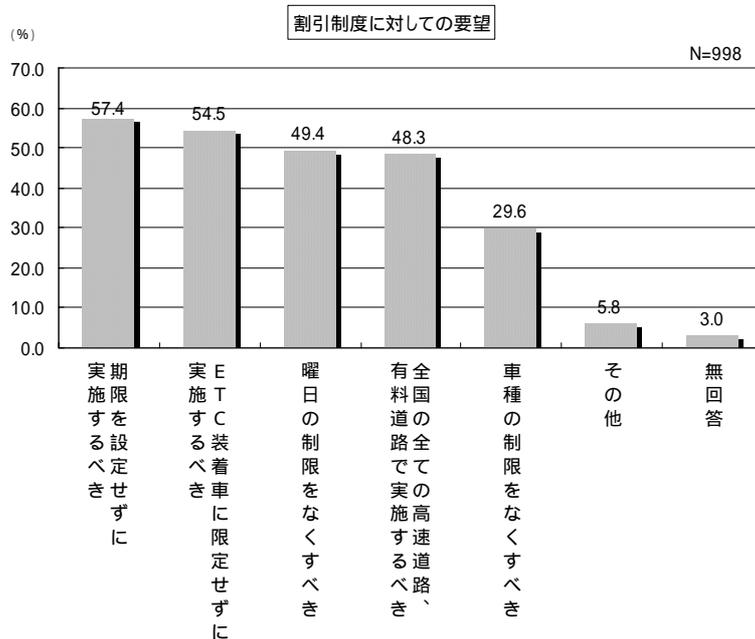
割引制度を使って行ってみたいと思う地域をたずねたところ、「東北(宮城県外)」が53.6%と、唯一5割を超え、他を引き離して最も多い。また、「東京」(24.5%)、「関東(東京以外)」(22.2%)、「北海道」(21.8%)、「新潟・北陸」(21.2%)、「宮城県内」(21.1%)といった関東以北の地域が2割以上となっている。



13. 割引制度に対する要望（複数回答）

「期限を設定せずに実施するべき」（57.4%）、「ETC装着車に限定せずに実施するべき」（54.5%）が5割以上の人に挙げられている。

割引制度に対する要望をたずねたところ、第1位が「期限を設定せずに実施するべき」で57.4%、第2位が「ETC装着車に限定せずに実施するべき」で54.5%となっており、これらは5割以上の人に挙げられている。以下、第3位が「曜日の制限をなくすべき」で49.4%、第4位が「全国の全ての高速道路、有料道路で実施するべき」で48.3%となっている。



「お問合せ」

仙台市青葉区本町3丁目2-26 TEL 022(217)3021 FAX 022(217)3022

E-mail: erc@erc_voice.co.jp http://www.erc_voice.co.jp/

株式会社 東日本リサーチセンター 企画調査部（担当：佐藤 貴俊、百井 淳）

禁無断転載